

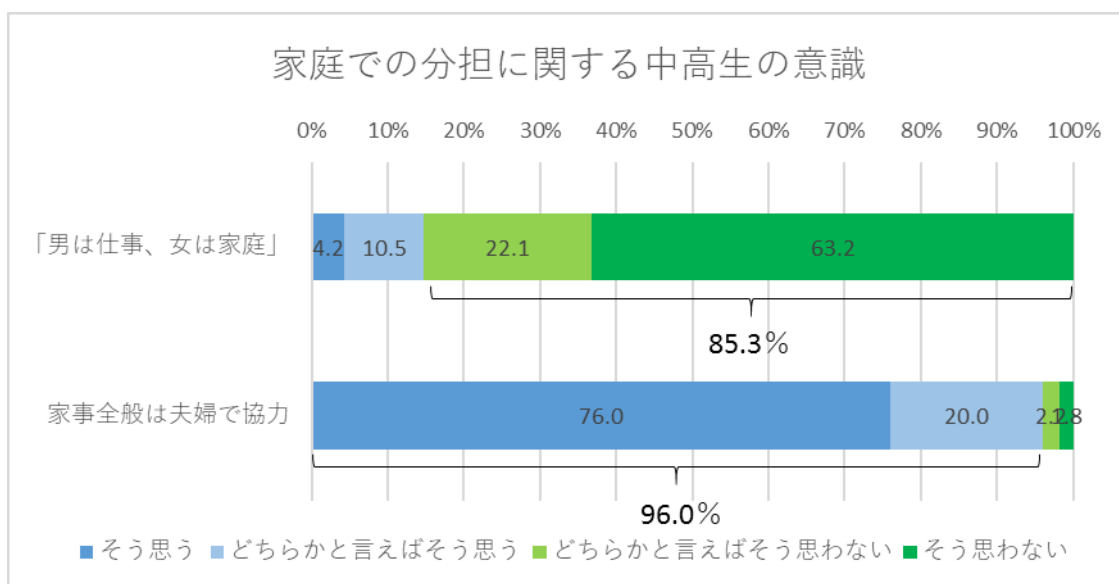


今月も前回に引き続き、昨年11～12月に実施した「男女共同参画・人権に関する意識調査」について、結果をご紹介します。今回は中高生の意識について取りあげます。

市民意識調査から見えてきたこと

～ 中高生編 ～

- 対象：一般 1,500人(回収率43.8%)、中高生 2,200人(回収率62.0%)
- 方法：郵送による回答及びインターネットによる回答(中高生はインターネットのみ)
- 内容：①一般：家庭生活、就労、社会参加、教育、ドメスティック・バイオレンス(DV)、基本的人権、男女共同参画
②中高生：家庭生活、学校生活と学校で学習したこと、働くこと、人権、男女共同参画



男女の働き方や家庭での家事分担を尋ねた設問の結果です。85%以上の中高生が「男は仕事、女は家庭だと思わない」と回答しています。また、家事全般は夫婦で協力したほうがいいという考えに96%もの中高生が賛同していることがわかりました。

若い世代では「男性が仕事をし、女性が家事を担う」という考え方は薄れてきていることがわかります。



詳細は、松本市ホームページ
をチェックしてみてください。

ホームページQRコード →





今月知っておきたい言葉

イコール・ペイ・デイ

男性が1年働き、女性が更に余分に働いてようやく男性と同じ賃金を手にする日のこと。

女性の平均賃金が男性より少ないのは世界共通で、女性が男性と同額の賃金を得るには、男性より何日か余分に働かなければいけない。

ちなみに、2022年のイコールペイデイは5月1日。男女が1月1日に働き始めて、男性が1年で手にした金額を、女性は更に5月1日まで働いてようやく手にすることができる。

6/23～29は国が定めた男女共同参画週間です

今年度のキャッチフレーズは「『あなたらしい』を築く、『あたらしい』社会へ」です。

「男だから」「女だから」と性別であり方を決めつける世の中から卒業し、「私だから」と堂々と胸を張って生きていける新しい世の中をつくっていきましょう。そのためには一人ひとりの気づきと行動が大切です。



←今年度の国のポスター



新着図書のご紹介



パレア松本には図書コーナーがあります。どなたでも自由に本を読んだり、借りたりすることができます。



『女性リーダーが生まれるとき』 (野村浩子著、光文社新書、2020年)

企業で活躍する女性役員の“一皮むけた経験”をテーマに、彼女たちのこれまでのキャリアを紹介する一冊。仕事を通じた苦勞や喜び、工夫などを知れば知るほど、どんどんページをめくりたくなるに間違いありません。ジェンダーの取り組みが進んでいる海外の事例も紹介されています。

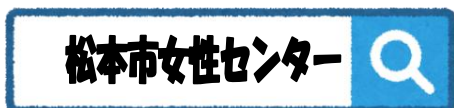
『問いから始める家族社会学 [改訂版]』 (岩間暁子ほか著、有斐閣ストゥディア、2022年)

「そもそも家族って何？」結婚・離婚、夫婦別姓、介護、少子化など、家族に関するテーマにはジェンダーの視点が欠かせません。普段あまり深く考えたことのない内容を論理的に整理しながら考えられる良書です。



この通信は、松本市公式ホームページでも見ることができます

Facebook もやっています！



＜編集・発行＞

松本市 人権共生課 (松本市女性センター)

〒390-0811

松本市中央 1-18-1 Mウイング3階

TEL 0263-39-1105 / FAX 0263-37-1153